

質問者	通告10番 11番 牧野 一仁 議員	通告時間 40分
		答弁者 町 長
質問事項	国が掲げる、2050年脱炭素社会・カーボンニュートラルについて町の取り組みを問う	
要 旨	<p>昨年10月、菅首相は所信表明演説で「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする。すなわちカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現を目指す」と宣言した。</p> <p>これにより、2030年度の温室効果ガス排出削減目標を従来の「2013年度比26%減」から「同比46%」に引き上げた。国は明確に数値を示して、脱炭素社会を目指すことを表明したことから、町も大きく転換を迫られている。そこで、以下について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 町では「大井町地球温暖化対策実行計画の事務事業編」で2030年度までの温室効果ガス削減の数値目標を掲げて取り組んでおり、情勢が大きく変化した場合は、その都度計画内容を見直すことになっている。国が大きく変化した現在、計画内容を見直すべきと思うが、町の考えを伺う。</li> <li>2 目標達成の取り組みとして、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入などが考えられるが、環境配慮型電源の調達などを推進する考えがあるか伺う。</li> <li>3 町の脱炭素社会へ向けた取り組みを内外に表明する「ゼロカーボンシティ」を宣言する考えはあるか伺う。</li> </ol>	